

静岡女大家政 ○河村 房代  
塚本 桃代  
横田 文子

1. 本研究は静岡県人の体位と体型の特徴を知るために、同一方法で同一時期に計測された全国の資料と比較したものである。

2. 資料は昭和41年、42年の7月、8月に計測した静岡市内在住の5歳から29歳までの男女計1764名のものである。

研究項目は身長、全頭高、上肢長、下肢長、足長、背肩幅、頭囲、胸囲、胴囲、腰囲、体重の11項目及び頭身示数、ローラー示数である。

3. 結果の概要は次の通りである。

a) 計測値について

腰囲を除いて総ての項目が男子が優位であることは全国と同じである。盛んな成長のとまるのは男子16歳女子15歳であり、19歳以後は男女共横ばいとなる。又全国に比べて本県は男女共胸囲がやや優位であり、他の項目は同じと見てよい。

b) 性差

胴を除き総ての項目が女子が優位になる時は11歳、12歳である。この成長のずれによる男女の差の幅は全国のそれに比べて本県は広い。

c) 体型の年齢的变化

男子は背肩幅、胴が大きく腰、胸の張りが少く17歳で略成人体型となるまで大体平均している。女子は身長に

比べて下肢が長く胴の太い、体型が10歳をこして急に胸、腰の発達した胴くびれ型に移行し、16歳で略成人と変らぬ体型となる。